

V 水防・危険箇所等

1 水防区域

川内川重要水防箇所一覧表 (A)

川内川河川事務所

川内川水系

番号	河川名	地先名	左右岸の別	位置	延長(m)	備考	水防工法
1	川内川	えびの市亀沢	左岸	99 K 600 ~ 100 K 000	240	高さ、幅ともに小さく、溢水、崩壊の恐れあり (堤防高A・堤防断面B) 低水路、高水敷部分の河道断面不足	積土俵工
2	〃	えびの市岡松	右岸	99 K 800 ~ 99 K 900	100	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面崩壊の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (堤防高A・漏水B・法崩れB) 低水路、高水敷部分の河道断面不足	積土俵工 シート張工
3	〃	えびの市岡松	右岸	100 K 800 ~ 101 K 200-50	405	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面崩壊の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (堤防高A・漏水B・法崩れB) 低水路、高水敷部分の河道断面不足	積土俵工 シート張工 月の輪工
4	〃	えびの市岡松	右岸	101 K 200-50 ~ 101 K 200+100	150	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高A) 低水路、高水敷部分の河道断面不足	積土俵工
5	〃	えびの市西川北	右岸	104 K 000 ~ 105 K 000+90	1,010	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高A) 無堤地区の為、高さ不足	〃
6	〃	えびの市池島	左岸	109 K 900 ~ 110 K 200-70	260	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高A) 無堤地区の為、高さ不足	〃
7	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 000 ~ 110 K 000+90	90	高さ、幅ともに小さく、溢水、崩壊の恐れあり (堤防高A・堤防断面A) 暫定堤防の為、高さ不足	〃
8	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 600 ~ 110 K 800	185	断面不足の為、崩壊の恐れあり 法面崩壊の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (堤防高A・漏水A・法崩れA) 堤防暫定の為、高さ不足	積土俵工 シート張工 月の輪工
9	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 800 ~ 111 K 200	365	断面不足の為、崩壊の恐れあり (堤防断面A) 暫定堤防の為、高さ不足	積土俵工
10	〃	えびの市今西	左岸	113 K 800 ~ 114 K 200	393	法面崩壊の恐れあり (堤防高A)	シート張工
11	〃	えびの市杉水流	左岸	116 K 200 ~ 116 K 600	245	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高A) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工
12	長江川	えびの市栗下	右岸	0 K 200 ~ 0 K 200+60	60	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高A) 無堤地区の為、高さ不足	〃
13	〃	えびの市加久藤	右岸	0 K 200 ~ 0 K 600	382	堤防の前面河床が深掘れし、対策が未施工 法面崩壊の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (水衝・洗掘A、法崩れA・漏水B)	水流し工 シート張工 月の輪工
14	〃	えびの市加久藤	右岸	0 K 600 ~ 0 K 800	200	堤防の前面河床が深掘れし、対策が未施工 法面崩壊の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (水衝・洗掘A、法崩れB・漏水B)	〃
計				14 ヶ所	4,085		

(出典：令和元年度 宮崎県水防計画)

川内川重要水防箇所一覧表 (B)

川内川河川事務所

川内川水系

番号	河川名	地先名	左右岸の別	位置	延長 (m)	備考	水防工法
1	川内川	えびの市亀沢	左岸	100 K 000 ~ 100 K 600	640	河積不足の為、溢水の恐れあり(堤防高B) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工
2	〃	えびの市岡松	右岸	99 K 900 ~ 100 K 200	315	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり(堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
3	〃	えびの市岡松	右岸	100 K 200 ~ 100 K 800	570	高さ、幅ともに小さく、溢水、崩壊の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・堤防断面B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
4	〃	えびの市向江	左岸	100 K 600+150 ~ 100 K 800	145	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり(堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
5	〃	えびの市向江	左岸	100 K 800 ~ 101 K 000	220	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり(堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
6	〃	えびの市向江	左岸	101 K 000 ~ 102 K 600	1,520	河積不足の為、溢水の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
7	〃	えびの市内堅	右岸	101 K 200+100 ~ 102 K 000-190	805	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり(堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
8	〃	えびの市内堅	右岸	102 K 000-190 ~ 102 K 000	190	基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (法前れB)	積土俵工 シート張り
9	〃	えびの市水流	右岸	102 K 000 ~ 102 K 400	265	河積不足の為、溢水の恐れあり 基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
10	〃	えびの市水流	右岸	102 K 400 ~ 102 K 800	150	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
11	〃	えびの市向江	左岸	102 K 600 ~ 102 K 800+70	70	河積不足の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工
12	〃	えびの市水流	右岸	102 K 600 ~ 102 K 800	85	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
13	〃	えびの市島内	左岸	102 K 600+70 ~ 102 K 800+119	50	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工
14	〃	えびの市水流	右岸	102 K 800 ~ 103 K 000	155	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
15	〃	えびの市島内	左岸	102 K 800+119 ~ 103 K 200+30	340	河積不足の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工
16	〃	えびの市水流	右岸	103 K 000 ~ 103 K 200	110	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
17	〃	えびの市水流	右岸	103 K 400 ~ 103 K 600	180	基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (法前れB)	シート張り
18	〃	えびの市西川北	右岸	105 K 000+90 ~ 105 K 400	235	堤防断面不足の為、崩壊の恐れあり (堤防断面B・洗掘B)	積土俵工 木流し工
19	〃	えびの市西川北	右岸	105 K 400 ~ 105 K 400+20	20	洗掘が予想され、崩壊の恐れあり(洗掘B)	木流し工
20	〃	えびの市東川北	右岸	106 K 000 ~ 106 K 000+140	140	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工
21	〃	えびの市湯田	右岸	106 K 000+140 ~ 106 K 400	250	堤防断面不足の為、崩壊の恐れあり (堤防断面B)	積土俵工
22	〃	えびの市申島	左岸	107 K 000 ~ 107 K 000+20	20	法前れ又はすべりの実績があり、対策が暫定施工 (法前れB) H19被災箇所	積土俵工
23	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 000+90 ~ 110 K 200	110	高さ、幅ともに小さく、溢水、崩壊の恐れあり (堤防高B・堤防断面B)	積土俵工
24	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 200 ~ 110 K 600	390	堤防断面不足の為、崩壊の恐れあり (堤防断面B)	積土俵工
25	川内川	えびの市池島	左岸	110 K 200 ~ 111 K 000+50	738	法面前壊の恐れあり(法前れB)	シート張り
26	〃	えびの市池島	左岸	111 K 000+50 ~ 111 K 000+150	100	無堤地区の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり (堤防高B・法前れB) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工 シート張り
27	〃	えびの市池島	左岸	111 K 000+150 ~ 111 K 400	263	法面前壊の恐れあり(法前れB)	シート張り
28	〃	えびの市今西	左岸	112 K 200 ~ 112 K 400	220	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工
29	〃	えびの市大明司	右岸	111 K 200 ~ 111 K 800	585	堤防断面不足の為、崩壊の恐れあり (堤防断面B)	積土俵工
30	〃	えびの市今西	左岸	112 K 400 ~ 113 K 800	1,442	法面前壊の恐れあり(法前れB)	シート張り
31	〃	えびの市飯野	左岸	114 K 600 ~ 115 K 400	820	法面前壊の恐れあり(法前れB)	シート張り
32	〃	えびの市飯野	左岸	115 K 400 ~ 116 K 000	476	河積不足の為、溢水の恐れあり 法面前壊の恐れあり(堤防高B・法前れB) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工 シート張り
33	〃	えびの市飯野	左岸	116 K 000 ~ 116 K 200	240	河積不足の為、溢水の恐れあり(堤防高B) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工
34	〃	えびの市麓	右岸	115 K 600-75 ~ 116 K 400+100	875	河積不足の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 低水位、高水敷部分の可逆断面不足	積土俵工
35	〃	えびの市杉水流	左岸	116 K 400 ~ 116 K 600	270	無堤地区の為、溢水の恐れあり (堤防高B) 無堤地区の為、高さ不足	積土俵工
36	長江川	えびの市加久藤	左岸	0 K 200 ~ 1 K 600	1,400	基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (漏水B)	月の輪工
37	〃	えびの市加久藤	右岸	0 K 800 ~ 1 K 600	800	基礎地盤及び堤体の土質等からみて漏水の恐れあり (漏水B)	月の輪工
計				37ヶ所	15,273		

(出典：令和元年度 宮崎県水防計画)

川内川重要水防箇所一覧表（重点区間）

川内川河川事務所

川内川水系

番号	河川名	地先名	左右岸 の別	位置	延長(m)	備考	水防工法
1	川内川	えびの市向江	左岸	100 K 600+100 ~ 102 K 600	1,935	法崩れが予想される	シート張工
2	〃	えびの市西川北	右岸	03 K 800 ~ 105 K 000+90	1,310	高さ、幅ともに小さく、 溢水、崩壊の恐れあり	積土俵工
3	〃	えびの市大明司	右岸	110 K 000 ~ 111 K 600	1,510	高さ、幅ともに小さく、 溢水、崩壊の恐れあり	〃
4	〃	えびの市杉水流	左岸	116 K 200 ~ 116 K 600	515	高さ、幅ともに小さく、 溢水、崩壊の恐れあり	〃
7	長江川	えびの市栗下	左岸	0 K 200 ~ 0 K 800	588	洗掘が予想される	積土俵工 木流し工
8	〃	えびの市加久藤	右岸	0 K 200 ~ 0 K 800	582	洗掘が予想される	〃
計				6ヶ所	6,440		

(出典：令和元年度 宮崎県水防計画)

重要水防箇所一覧表

番号	河川名	河川名	位置	左岸 右岸	延長	理由	予想される 事態	対水防工法	背後試算の状況	備考
1	川内川	稲荷川	えびの市大字内堅 字宮久保地先	左岸	430m	流下断面不足 (本川水位の影響)	水があふれる	積土のう工	住宅地	H17.18年に浸水被害
2	川内川	西境川	えびの市大字向江 字岩次地先	左岸 右岸	400m	流下断面不足 (本川水位の影響)	水があふれる	積土のう工	住園宅地、保育園	H9.18年に浸水被害
3	川内川	川内川	えびの市大字 大河平	右岸	400m	堤防高不足	水があふれる	積土のう工	住宅地	R2年に浸水被害

(出典：令和2年度 宮崎県水防計画書)

重要水防箇所一覧表 (要注意)

番号	水系名	河川名	位置	左岸 右岸	延長	理由	予想される 事態	対水防工法	背後資産の状況	備考
				左岸 右岸			水があふれる			
1	川内川	清添川	えびの市大字柳水流 字清添地先	左岸 右岸	560m	内水	水があふれる	積土のう工	国道、鉄道、住宅地	H9.18年に浸水被害

(出典：平成24年度 宮崎県水防計画書)

2 災害危険箇所

災害危険箇所などの状況（急傾斜地崩壊危険箇所（Ⅰ））

危険箇所番号			箇所名	郡市	大字	小字	1/25000 図面名	人家戸数	換算人家戸数	延長	傾斜度	斜面高	オーバーハング	表土厚	地質種類	崩壊の有無	湧水の有無	公共的建物種類	公共的建物数	公共的建物種類	公共的建物数	急傾斜地崩壊危険区域の指定年月日
I	1	0824	徳満	えびの市	東川北	徳満	加久藤	5	5	200	33	21	無	30	火山破屑物	有	無					
I	1	0825	狩山	えびの市	東川北	狩山	加久藤	8	8	147	33	30	無	30	火山破屑物	無	有					
I	1	0826	下山内	えびの市	山内	下山内	加久藤	8	8	244	35	26	無	800	火山破屑物	有	有	公民館	1			
I	1	0827	馬場	えびの市	東長江浦	馬場	加久藤	16	16	320	34.8	34	無	30	火山破屑物	無	有					急H10.3.19
I	1	0830	下鷺2	えびの市	内堅	下鷺	加久藤	8	8	100	66.5	9	無	200	火山破屑物	無	無			国道447	100	
I	1	0831	小久保	えびの市	内堅	小久保	加久藤	5	5	100	37.1	16	無	500	火山破屑物	有	有					
I	1	0833	麓	えびの市	小田	麓	加久藤	6	6	80	52.7	27	無	30	火山破屑物	有	有					
I	1	0834	松原	えびの市	小田	松原	加久藤	8	8	240	44.3	25	無	30	火山破屑物	無	有	公民館	1			急H9.7.24
I	1	0836	馬場2	えびの市	東長江浦	馬場	加久藤	8	8	200	53	15	無	30	火山破屑物	無	有					
I	1	0837	久保原	えびの市	大河平	久保原	日向大久保	15	15	320	33.6	23	無	500	火山破屑物	無	有					
I	1	0838	二八ノ下	えびの市	大明司	二八ノ下	加久藤	5	5	190	31.3	14	無	30	火山破屑物	無	有	公民館	1			急S61.5.2
I	1	0839	榎田	えびの市	大明司	榎田	加久藤	6	6	140	52	15	無	30	火山破屑物	有	有	公民館	1			
I	1	2285	大河平	えびの市	大河平	有島	日向大久保	7	7	120	40	34	無	30	火山破屑物	有	有			市道	80	急H7.3.30
I	1	3301	西内堅-1	えびの市	内堅	西内堅	吉松	1	1	30	40	30	無	100	火山破屑物	無	無	公民館	1	国道447号線		
I	1	3302	麓-3	えびの市	原田	麓	加久藤	7	7	60	50	40	無	150	火山破屑物	無	有			市道・愛染院坂川	100,50	
I	1	3303	麓-4	えびの市	小田	麓	加久藤	5	5	80	55	40	無	100	火山破屑物	有	有			道路	50	
I	1	3304	古城	えびの市	上江	古城	加久藤	7	7	80	40	15	無	100	火山破屑物	有	有					
I	1	えびの1	妙現	えびの市	岡松	妙現	加久藤	5	5	45	42	13	無	30	火山破屑物	有	有			道路	30	

(出典：えびの市庁内資料)

災害危険箇所などの状況（急傾斜地崩壊危険箇所（Ⅱ及びⅢ））

危険箇所番号			箇所名	郡市	大字	小字	1/25000 図 面名	人家戸数	換算人家 戸数
Ⅱ	1	0828	大河平	えびの市	内堅	大河平	吉松	3	3
Ⅱ	1	0829	下鶯	えびの市	内堅	下鶯	吉松	1	1
Ⅱ	1	0832	木場田	えびの市	内堅	木場田	加久藤	4	4
Ⅱ	1	0835	下村	えびの市	東長江浦	下村	加久藤	4	4
Ⅱ	1	0840	下門前	えびの市	末永	下門前	加久藤	4	4
Ⅱ	1	2286	昌明寺	えびの市	昌明寺	湯園	加久藤	3	3
Ⅱ	1	5396	吉牟田-1	えびの市	大河平	吉牟田	白髪岳	1	1
Ⅱ	1	5397	吉牟田-2	えびの市	大河平	吉牟田	白髪岳	1	1
Ⅱ	1	5398	堂山	えびの市	内堅	堂山	吉松	1	1
Ⅱ	1	5399	西内堅-2	えびの市	内堅	西内堅	吉松	1	1
Ⅱ	1	5400	大番庫-1	えびの市	内堅	大番庫	吉松	1	1
Ⅱ	1	5401	大番庫-2	えびの市	内堅	大番庫	吉松	1	1
Ⅱ	1	5402	大番庫-3	えびの市	内堅	大番庫	吉松	3	3
Ⅱ	1	5403	中内堅-1	えびの市	内堅	中内堅	吉松	1	1
Ⅱ	1	5404	中内堅-2	えびの市	内堅	中内堅	吉松	1	1
Ⅱ	1	5405	木場田-1	えびの市	内堅	木場田	加久藤	3	3
Ⅱ	1	5406	城下-1	えびの市	内堅	城下	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5407	城下-2	えびの市	内堅	城下	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5408	湯園-1	えびの市	昌明寺	湯園	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5409	湯園-2	えびの市	昌明寺	湯園	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5410	四反田-1	えびの市	西川北	四反田	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5411	四反田-2	えびの市	西川北	四反田	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5412	四反田-3	えびの市	西川北	四反田	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5413	向江原	えびの市	西川北	向江原	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5414	徳満2	えびの市	東川北	徳満	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5415	徳満3	えびの市	東川北	徳満	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5416	柵野	えびの市	大河平	柵野	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5417	菖蒲野	えびの市	大河平	菖蒲野	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5418	川上-1	えびの市	大河平	川上	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5419	川上-2	えびの市	大河平	川上	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5420	梅木-1	えびの市	内堅	梅木	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5421	梅木-2	えびの市	内堅	梅木	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5422	亀沢-1	えびの市	亀沢	亀沢	加久藤	4	4
Ⅱ	1	5423	亀沢-2	えびの市	亀沢	亀沢	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5424	池牟礼	えびの市	浦	池牟礼	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5425	柳水流-1	えびの市	柳水流	柳水流	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5426	柳水流-2	えびの市	柳水流	柳水流	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5427	川上-3	えびの市	大河平	川上	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5428	山内	えびの市	大明司	山内	加久藤	3	3
Ⅱ	1	5429	後川内	えびの市	大明司	後川内	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5430	西長江浦下-1	えびの市	西長江浦	西長江浦下	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5431	東長江浦下	えびの市	東長江浦	東長江浦下	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5432	池島	えびの市	池島	池島	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5433	麓-1	えびの市	原田	麓	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5434	有島-1	えびの市	大河平	有島	日向大久保	2	2
Ⅱ	1	5435	尾八重野	えびの市	東長江浦	尾八重野	韓国岳	1	1
Ⅱ	1	5436	出水-1	えびの市	末永	出水	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5437	出水-2	えびの市	末永	出水	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5438	中の原	えびの市	末永	中の原	韓国岳	2	2
Ⅱ	1	5439	大迫	えびの市	原田	大迫	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5440	宮内	えびの市	大明司	宮内	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5441	熊坂	えびの市	坂元	熊坂	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5442	湯ノ元	えびの市	昌明寺	湯ノ元	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5443	藤坂	えびの市	原田	藤坂	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5444	小鹿倉	えびの市	昌明寺	小鹿倉	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5445	大番庫-4	えびの市	西内堅	大番庫	吉松	1	1
Ⅱ	1	5446	愛宕下	えびの市	西川北	愛宕下	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5447	中野	えびの市	東川北	中野	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5448	陣原	えびの市	末永	陣原	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5449	ホキ谷	えびの市	末永	ホキ谷	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5450	松ノ元	えびの市	西長江浦	松ノ元	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5451	平砂	えびの市	西長江浦	平砂	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5452	仮屋-1	えびの市	内堅	仮屋	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5453	東妙見	えびの市	原田	東妙見	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5454	大正水流-1	えびの市	坂元	大正水流	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5455	南昌明寺	えびの市	昌明寺	南昌明寺	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5456	有島-2	えびの市	大河平	有島	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5457	妙見原-1	えびの市	原田	妙見原	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5458	湯園-3	えびの市	昌明寺	湯園	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5459	大番庫-5	えびの市	西内堅	大番庫	吉松	1	1
Ⅱ	1	5460	四反田-4	えびの市	西川北	四反田	加久藤	3	3
Ⅱ	1	5461	妙見原-2	えびの市	原田	妙見原	加久藤	3	3
Ⅱ	1	5462	麓-2	えびの市	原田	麓	日向大久保	1	1
Ⅱ	1	5463	大正水流-2	えびの市	坂元	大正水流	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5464	溝園	えびの市	西長江浦	溝園	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5465	西長江浦下-2	えびの市	西長江浦	西長江浦下	加久藤	2	2
Ⅱ	1	5466	仮屋-2	えびの市	内堅	仮屋	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5467	脇村-1	えびの市	大明司	脇村	加久藤	1	1
Ⅱ	1	5468	脇村-2	えびの市	大明司	脇村	加久藤	1	1
Ⅲ	1	9523	榎田-1	えびの市	榎田		加久藤		
Ⅲ	1	9524	四日市原-1	えびの市	灰塚	四日市原	加久藤		
Ⅲ	1	9525	四日市原-2	えびの市	灰塚	四日市原	加久藤		

(出典：えびの市市内資料)

災害危険箇所などの状況（土石流危険渓流）

渓流番号 (県・事務所 の附番)	水系名	河川名	溪流名	所在地 字	流域概況 溪流長 (km)	流域概況 流域面積 (km ²)	流域概況 平均渓床 勾配 (%)	流域概況 地質条件1	保全対象 人家戸数	災害 弱者 関連 施設 名称	保全対象 左記以外 施設名称	保全対象 耕地面積	砂防施設 有無	砂防指定 地指定の 有無	備考 事業採択
052091001	川内川	白川	内堅1	内堅	0.55	0.39	12	火山口(火山灰地帯)	5		国道447号線:0.55km	21100(21100)	無		国保
052091002	川内川	白川	堂山川1	内堅	0.50	0.39	8	火山口(火山灰地帯)	10		国道447号線:0.55km RR肥薩線:0.15km	58300(57200)	有 1基(4894)	有	国保
052091003	川内川	白川	堂山谷川1	堂山	1.63	0.88	16	火山口(火山灰地帯)	5		国道447号線:0.75km RR肥薩線:0.18km	125700(125700)	無		国保
052091004	川内川	白川	西内堅谷川1	西内堅	0.18	0.09	8	火山口(火山灰地帯)	0		真幸駅国道447号線:0.90km RR肥薩線:0.20km	125500(8400)	無		国保
052091005	川内川	白川	内堅2	内堅	0.50	0.66	13	火山口(火山灰地帯)	5		国道447号線:0.04km RR肥薩線:0.15km	70800(3600)	無	有	国保
052091006	川内川	白川	梅木谷川	梅木	0.35	0.06	6	火山口(火山灰地帯)	10		国道447号線:0.03km	4000(4000)	無		
052091007	川内川	稲荷川	内堅9	内堅	0.70	0.71	8	火山口(火山灰地帯)	5			21000(21000)	有 1基(3825)		国保
052091008	川内川	湯ノ川	堂山川2	昌明寺	0.80	0.87	9	火山口(火山灰地帯)	21		伊藤旅館の湯温泉国道408号線:0.75km	48400(38400)	有 1基(3011)	有	国保
052091009	川内川	湯ノ川	高山谷川1	高山	0.78	0.22	14	火山口(火山灰地帯)	21		伊藤旅館の湯温泉国道408号線:0.75km	47500(0)	無	有	国保
052091010	川内川	湯ノ川	高山谷川2	高山	0.93	0.39	15	火山口(火山灰地帯)	25		伊藤旅館の湯温泉国道408号線:1.08km	50500(2100)	無		国保
052091011	川内川	湯ノ川	昌明寺1	昌明寺	0.55	0.95	12	火山口(火山灰地帯)	32		国道408号線:0.55km	25800(2900)	有 1基(10944)		国保
052091012	川内川	湯ノ川	高山谷川1	昌明寺	0.10	0.04	22	火山口(火山灰地帯)	12		伊藤旅館の湯温泉 自田温泉公民館国道408号線:0.55km	25800(0)	無		国
052091013	川内川	湯ノ川	高山谷川4	昌明寺	0.12	0.03	9	火山口(火山灰地帯)	9		伊藤旅館の湯温泉国道408号線:0.55km	23500(3400)	無		国
052091014	川内川	湯ノ川	西川北1	西川北	0.25	0.14	11	火山口(火山灰地帯)	10		県道102号線:0.15km	14900(14900)	無	有	
052091015	川内川	天神川	内小野谷川	内小野	1.10	0.66	12	火山口(火山灰地帯)	14		県道102号線:0.20km	35100(20200)	無	有	国
052091016	川内川	天神川	天神川	西川北	2.00	1.54	8	火山口(火山灰地帯)	19		県道102号線:0.13km	106200(106200)	無	有	国
052091017	川内川	天神川	向江原谷川	向江原	0.95	0.19	12	火山口(火山灰地帯)	22		県道102号線:0.13km	152300(36100)	無		国
052091018	川内川	天神川	西川北川	東川北	0.10	0.03	17	火山口(火山灰地帯)	22		県道102号線:0.13km	152200(18400)	無		
052091019	川内川	天神川	中水流谷川	中水流	0.48	0.03	10	火山口(火山灰地帯)	11		県道102号線:0.30km	44000(44000)	無		国保 1基(280)
052091020	川内川	関川	彦山谷川	彦山	0.53	0.16	15	火山口(火山灰地帯)	6		国道221号線:0.08km 四州自動車道:0.35km	86300(36300)	無		国
052091021	川内川	川北川	牧の原谷川	榎田	1.25	2.00	11	火山口(火山灰地帯)	6		国道221号線:0.10km 四州自動車道:0.35km	41900(2500)	無	有	国
052091022	川内川	白川	鬼岩谷川1	鬼岩	0.50	0.35	16	火山口(火山灰地帯)	25		HOTELバイパス国道221号線:0.45km	33600(36600)	無		国
052091023	川内川	川内川	鬼岩谷川2	鬼岩	1.15	0.15	15	火山口(火山灰地帯)	21		HOTELバイパス国道221号線:0.45km	13500(0)	無		国
052091024	川内川	川内川	松原谷川	松原	0.43	0.04	7	火山口(火山灰地帯)	28		松原区公民館国道221号線:0.45km	7700(7700)	無		国保
052091025	川内川	後川内川	横道谷川	大明司	0.75	0.48	14	火山口(火山灰地帯)	9		山内自治会館	17300(7300)	無	有	国
052091026	川内川	後川内川	大明司1	大明司	0.14	0.03	16	火山口(火山灰地帯)	5			33000(33000)	無		
052091027	川内川	山内川	芋畑谷川3	芋畑	0.78	0.28	12	火山口(火山灰地帯)	9			25700(5100)	無	有	国
052091028	川内川	山内川	芋畑谷川2	芋畑	0.73	0.27	14	火山口(火山灰地帯)	8			46800(36800)	無	有	国
052091029	川内川	後川内川	芋畑1	芋畑	1.20	0.99	7	火山口(火山灰地帯)	3		芋畑コミュニティセンター	94800(94800)	無	有	国
052091030	川内川	二十里川	芋畑谷川1	芋畑	0.38	0.19	16	火山口(火山灰地帯)	18			69800(39800)	有 1基(3263)	有	国保
052091031	川内川	二十里川	永迫谷2	芋畑	0.26	0.04	9	火山口(火山灰地帯)	10			71600(71600)	無		
052091032	川内川	二十里川	斧砥谷川	斧砥	0.78	0.63	11	火山口(火山灰地帯)	25		芋畑集乳所	75600(75600)	無	有	
052091033	川内川	川内川	六の下谷川	六の下	0.35	0.07	9	火山口(火山灰地帯)	26		国道221号線:0.25km	22500(22500)	無		
052091034	川内川	川内川	坂元1	坂元	0.10	0.04	11	火山口(火山灰地帯)	6		国道221号線:0.38km	31500(31500)	無		
052091035	川内川	川内川	西の原谷川	西の原	0.40	0.11	16	火山口(火山灰地帯)	8		西の原地区集会所 えびの市一般廃棄物最終処分場 えびの市上水道西ノ原加圧ポンプ室	27000(27000)	無		
052091036	川内川	川内川	原田1	原田	0.94	0.40	6	火山口(火山灰地帯)	14			5100(5100)	有 1基(360)		国
052091037	川内川	川内川	大河平1	大河平	0.15	0.03	8	一般(第三、四紀層)	5		御内馬場公民館	45000(5000)	無		
052091038	川内川	川内川	大河平谷川	大河平	0.53	0.07	5	一般(第三、四紀層)	25		大河平小学校敷地国道404号線:0.55km	45000(0)	無		
052091039	川内川	池島川	大迫川	大迫	0.18	0.05	9	火山口(火山灰地帯)	5			133200(133200)	無		国
052091040	川内川	長江川	馬場川	馬場川	0.35	0.07	5	火山口(火山灰地帯)	10			74700(74700)	有 1基(7750)	有	
052091041	川内川	長谷川	尾八重野川3	尾八重野	0.41	0.17	12	火山口(火山灰地帯)	3		公民館	29800(29800)	無		国
052091042	川内川	長谷川	尾八重野川2	尾八重野	0.26	0.05	9	火山口(火山灰地帯)	13		公民館	48400(38600)	無		国
052091043	川内川	長谷川	尾八重野川1	尾八重野	1.20	2.41	10	火山口(火山灰地帯)	2		えびの営林署	81900(81900)	無	有	国
052091044	川内川	長江川	高原川1	えびの高原	0.64	0.31	5	火山口(火山灰地帯)	1		国民宿舎えびの高原荘 えびの高原ホテル別館 からくに荘 駐在所 えびの高原給油所 主要地方道30号線:0.14km	114800(114800)	無		国
052091045	川内川	長江川	高原川2	えびの高原	0.61	0.19	1	火山口(火山灰地帯)	0		ピクニック広場 主要地方道 小林えびの高原牧園線:0.25km	68400(38400)	無		国
052091046	川内川	有島川	有島谷川	大河平	0.36	0.05	6	火山口(火山灰地帯)	10			0	有 1基(419)	有	
052092001	大淀川	石氷川	環野川	原田	0.90	0.71	8	火山口(火山灰地帯)	1			15100(15100)	無	有	国
052092002	川内川	白川	岡松1	岡松	0.16	0.04	14	火山口(火山灰地帯)	1			7100(7100)	無		
052092003	川内川	白川	内堅3	内堅	0.85	0.45	13	火山口(火山灰地帯)	2		国道447号線:0.70km RR肥薩線:0.08km	45600(5000)	無		国保 1基(307)
052092004	川内川	白川	内堅4	内堅	0.18	0.03	16	火山口(火山灰地帯)	1		国道447号線:0.73km RR肥薩線:0.32km	80200(4000)	無		
052092005	川内川	白川	内堅5	内堅	0.86	1.07	18	火山口(火山灰地帯)	1		国道447号線:0.73km RR肥薩線:0.10km	50500(3700)	無		国保
052092006	川内川	白川	内堅6	内堅	0.65	0.27	11	火山口(火山灰地帯)	3		国道447号線:0.73km	39800(0)	無		国保
052092007	川内川	白川	内堅7	内堅	0.54	0.13	8	火山口(火山灰地帯)	3		国道447号線:0.73km	31800(0)	無		国保
052092008	川内川	白川	内堅8	内堅	0.90	0.29	8	火山口(火山灰地帯)	3		国道447号線:0.09km	8600(700)	無		
052092009	川内川	稲荷川	昌明寺2	昌明寺	0.13	0.05	13	火山口(火山灰地帯)	3			58900(58900)	無		
052092010	川内川	湯ノ川	昌明寺3	昌明寺	0.74	0.51	13	火山口(火山灰地帯)	2		県道408号線:0.65km 県道102号線:0.73km	124900(124900)	無		国保
052092011	川内川	川北川	東川北1	東川北	0.20	0.08	17	火山口(火山灰地帯)	2		九州自動車道:0.08km	98800(2500)	無		国保
052092012	川内川	山内川	六本原谷川	芋畑	2.48	2.55	10	火山口(火山灰地帯)	4			37800(0)	無	有	国保
052092013	川内川	川内川	畝倉溪谷河	畝倉	0.85	0.95	8	火山口(火山灰地帯)	1			0	無	有	
052092014	川内川	川内川	大河平2	大河平	0.15	0.05	8	一般(第三、四紀層)	1			0	無		
052092015	川内川	出水川	出水川	出水	0.23	0.05	12	火山口(火山灰地帯)	3			136800(136800)	無		国
052092016	川内川	天神川	白鳥川1	白鳥	3.00	7.19	8	火山口(火山灰地帯)	3			79200(79200)	無	有	国保 2基(164)
052092017	川内川	天神川	白鳥川2	白鳥	2.20	0.90	7	火山口(火山灰地帯)	4			31500(31500)	有 1基(3455)	有	国
052092018	球磨川	大川間川	高野谷川	高野	0.30	0.10	5	火山口(火山灰地帯)	2			10500(10500)	無		
052092019	球磨川	桑木津留川	西谷川	西	1.35	0.87	13	火山口(火山灰地帯)	2		JR肥薩線:0.43km	4700(4700)	無		国

(出典：えびの市市内資料)

災害危険箇所などの状況（地すべり危険区域）

箇所名	水系名	幹川名	溪流名	大字	字	総面積	勾配	基盤名称1	基盤名称2	地質構造	移動土塊層	受け・流れ盤	亀裂発生	亀裂頻度	陥没・隆起	湿地状況	湧水水量	湧水箇所	発生数	発生年次1	発生年次2	発生年次3	河川への影響	人口	総人家	公共1	総公共1	公共2	総公共2	公共3	総公共3	総耕地	区域の指定	その他区域1	その他区域2
苗杉北	川内川	川内川	川内川	大河平		42.4	17	安山岩	粘板岩	断層破碎帯	レキ混じり土砂	流れ盤	無		無	無	無	無					124.0万	0	0	林道	1060				0	無			
苗杉南	川内川	川内川	川内川	大河平		10.1	35	安山岩	粘板岩	強風化	レキ混じり土砂	流れ盤	無		無	無	無	無					12.7万	0	0	林道	450				0	無			
堂山	川内川	白川	大河平川	内堅		21.8	13	安山岩		キャップロック	レキ混じり土砂	不明	無		有	有	多(常に湧出している)	多(3箇所以上)	3	M40	S22	S57	—	6	2	国道	280	市道	350	鉄道	120	3.7	無	保安林	国有林
昌明寺	川内川	川内川	湯ノ川	昌明寺		6.7	14	シラス	安山岩	貫入岩	レキ混じり土砂	不明	有	常時生じる	無	無	無	無					—	6	2	県道	70				1.1	無			
二八の下西	川内川	川内川	川内川	大明司	二八の下	8	16	砂礫層	シラス	その他	レキ混じり土砂	不明	無		無	無	少(時々湧出、もしくは湿地状となっている)	少(3箇所未満)					—	36	13	国道	280				4.4	無			
二八の下東	川内川	川内川	川内川	大明司	二八の下	9.5	17	砂礫層	シラス	その他	レキ混じり土砂	不明	無		無	有	少(時々湧出、もしくは湿地状となっている)	少(3箇所未満)	1	S51			—	42	15	国道	300	市道	30		7	無			

(出典：えびの市庁内資料)

平成 29 年 2 月 1 日時点

箇所合計の内訳	急傾斜地の崩壊	79	箇所
	土石流	39	箇所
	地すべり	0	箇所

うち 新たに把握した箇所	急傾斜地の崩壊	30	箇所
	土石流	4	箇所
	地すべり	0	箇所

うち特別警戒区域 31 区域 31 箇所

区域合計の内訳	急傾斜地の崩壊	59	箇所
	土石流	25	箇所
	地すべり	0	箇所

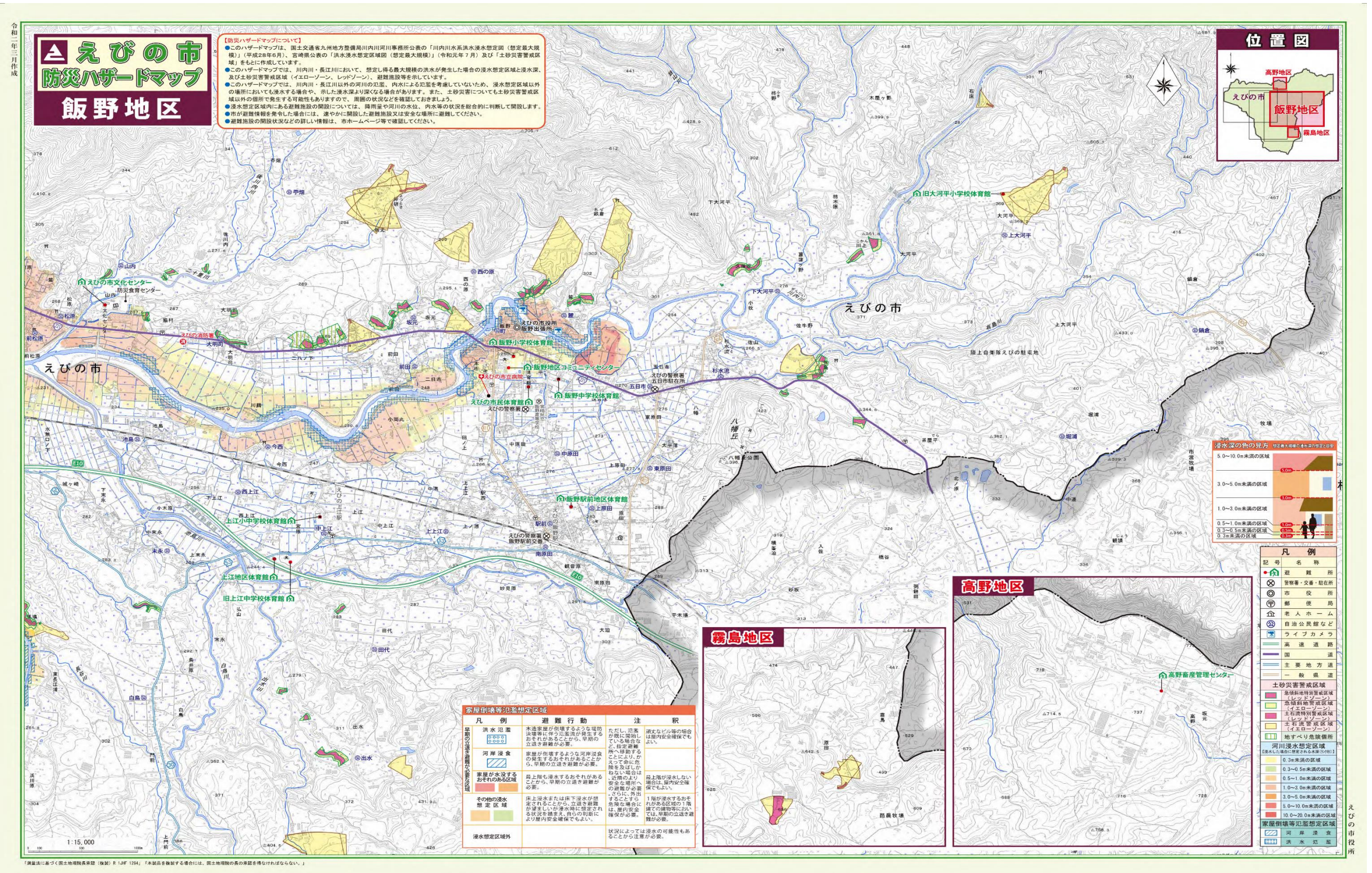
箇所合計の内訳	急傾斜地の崩壊	59	箇所
	土石流	25	箇所
	地すべり	0	箇所

新たに把握した箇所	急傾斜地の崩壊	27	箇所
	土石流	4	箇所
	地すべり	0	箇所

(えびの市庁内資料—県小林土木事務所提供)

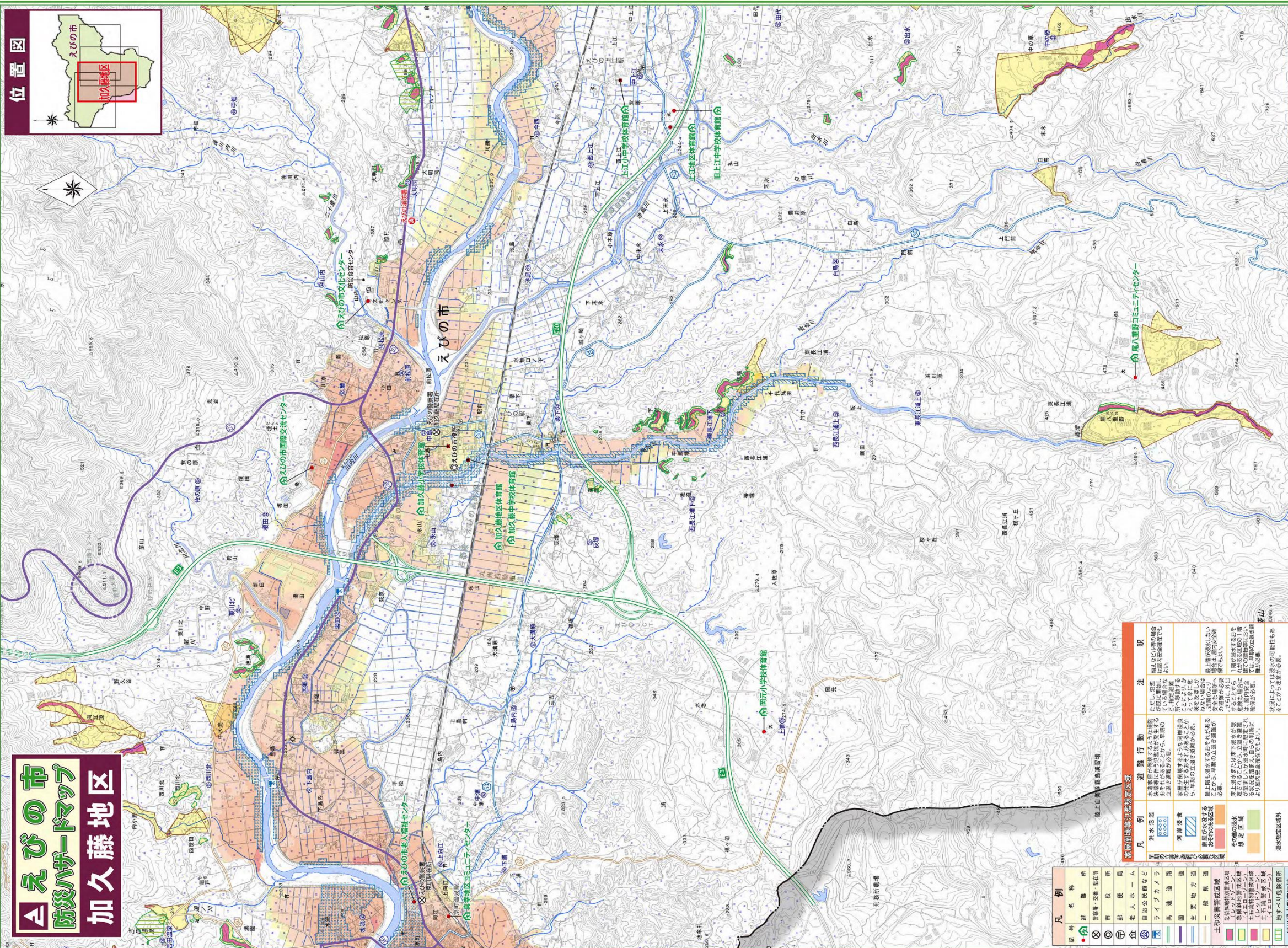
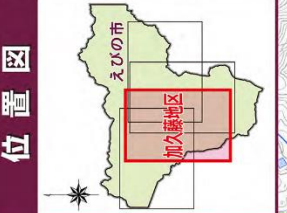
4 防災ハザードマップ

■飯野地区、上江地区、加久藤地区、真幸地区の地図面



令和二年三月 作成

▲ えびの市 防災ハザードマップ 加久藤地区



浸水の色別の見方

5.0-10.0m未満の浸水
3.0-5.0m未満の浸水
1.0-3.0m未満の浸水
0.5-1.0m未満の浸水
0.2-0.5m未満の浸水
0.3m未満の浸水

このハザードマップについて

凡例

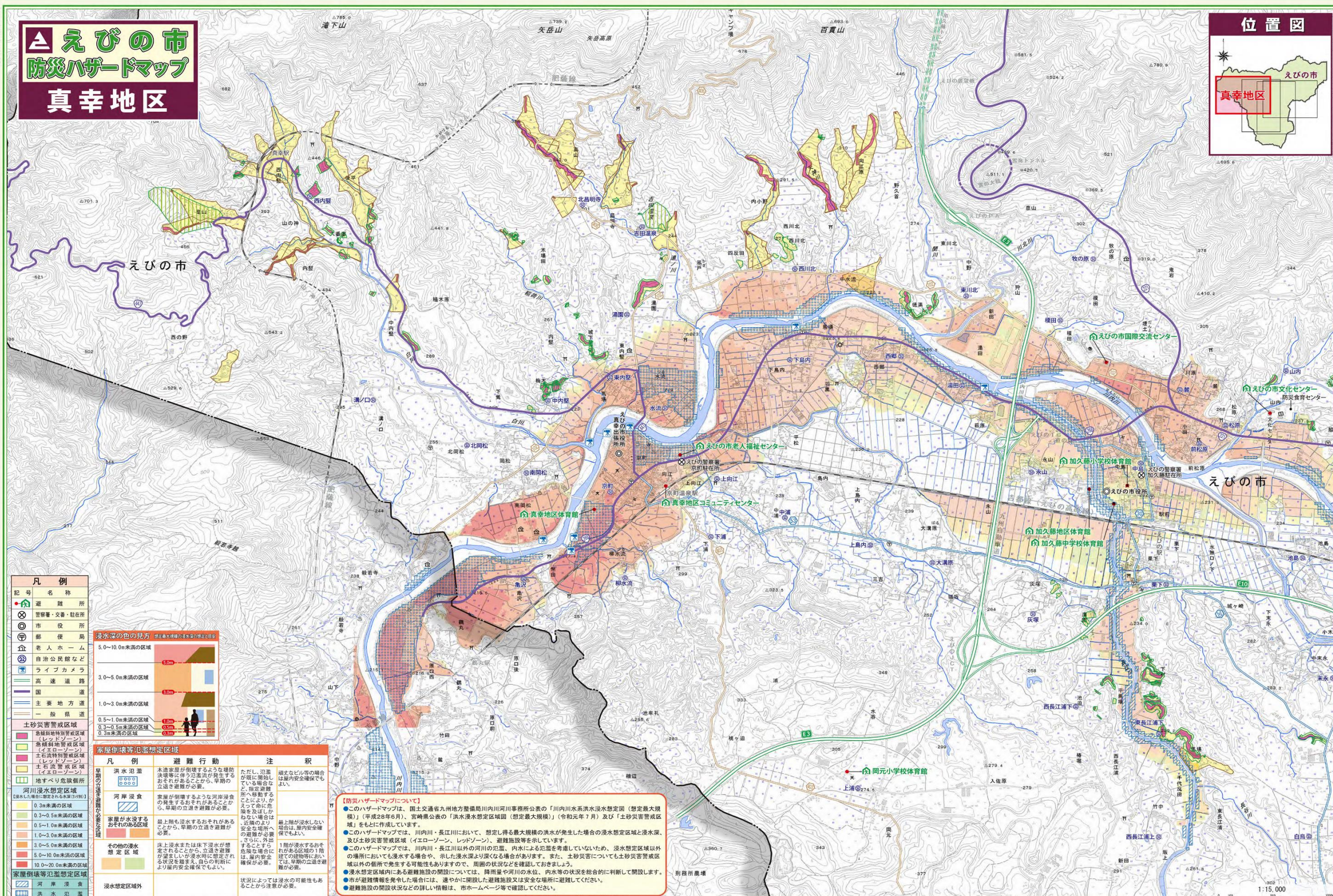
- 学校 (小学校・中学校)
- 公園 (市民公園)
- 避難所 (指定避難所)
- 老人ホーム
- 自治公民館
- 消防署
- 高圧送電線
- 主要地方道路
- 一般国道
- 河川 (河川敷)
- 土砂災害警戒区域 (警戒区域)
- 土砂災害警戒区域外 (警戒区域外)
- 土砂災害特別警戒区域 (特別警戒区域)
- 土砂災害特別警戒区域外 (特別警戒区域外)
- 土砂災害警戒区域 (警戒区域)
- 土砂災害警戒区域外 (警戒区域外)
- 土砂災害警戒区域 (警戒区域)
- 土砂災害警戒区域外 (警戒区域外)
- 土砂災害警戒区域 (警戒区域)
- 土砂災害警戒区域外 (警戒区域外)
- 土砂災害警戒区域 (警戒区域)
- 土砂災害警戒区域外 (警戒区域外)

注

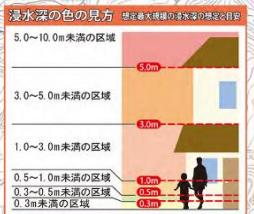
1. 浸水が予測される場合は、浸水想定区域図に基づいて浸水予測を行います。ただし、浸水予測は、浸水想定区域図に基づいたものであり、実際の浸水状況とは異なる場合があります。
2. 浸水想定区域図は、過去の浸水履歴や地形地質データに基づいて作成されています。
3. 浸水想定区域図は、国土院のデータベースに基づいて作成されています。
4. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
5. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
6. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
7. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
8. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
9. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。
10. 浸水想定区域図は、最新のデータに基づいて作成されています。

本図は、国土院のデータベースに基づいて作成されています。最新のデータに基づいて作成されています。本図は、国土院のデータベースに基づいて作成されています。最新のデータに基づいて作成されています。

えびの市 防災ハザードマップ 真幸地区



凡例	
記号	名称
🏠	避難所
🚓	警察署・交番・駐在所
🏛️	市役所
📮	郵便局
🏠	老人ホーム
🏠	自治公民館など
📷	ライブカメラ
🛣️	高速道路
🛣️	国道
🛣️	主要地方道
🛣️	一般県道
🏠	土砂災害警戒区域
🏠	急傾斜地崩壊危険区域 (レッドゾーン)
🏠	土石流警戒区域 (イエローゾーン)
🏠	土石流特別警戒区域 (レッドゾーン)
🏠	地すべり危険箇所
🏠	河川浸水想定区域 (洪水発生想定される水(399))
🏠	0.3m未満の区域
🏠	0.3~0.5m未満の区域
🏠	0.5~1.0m未満の区域
🏠	1.0~3.0m未満の区域
🏠	3.0~5.0m未満の区域
🏠	5.0~10.0m未満の区域
🏠	10.0~20.0m未満の区域
🏠	20.0m以上の区域
🏠	家屋倒壊等氾濫想定区域
🏠	河川浸食
🏠	洪水氾濫



家屋倒壊等氾濫想定区域		避難行動		注釈	
洪水氾濫	水浸しによる家屋の倒壊や、津波等に伴う氾濫が想定されることから、早期の立退き避難が必要。	洪水氾濫	水浸しによる家屋の倒壊や、津波等に伴う氾濫が想定されることから、早期の立退き避難が必要。	ただし、氾濫が既に開始している場合は、避難所へ移動することにより、かえって命の危険を及ぼしかねない場合は、近隣の安全な場所へ避難が必要。	避難所が浸水しない場合は、屋内安全確保が必要。
河川浸食	家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。	河川浸食	家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を確認し、自らの判断により屋内安全確保を要する。	状況によっては浸水の可能性もあることから注意が必要。
その他の浸水想定区域	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を確認し、自らの判断により屋内安全確保を要する。	その他の浸水想定区域	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を確認し、自らの判断により屋内安全確保を要する。	床上浸水または床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を確認し、自らの判断により屋内安全確保を要する。	状況によっては浸水の可能性もあることから注意が必要。

【防災ハザードマップについて】

- このハザードマップは、国土交通省九州地方整備局川内河川事務所公表の「川内川水系洪水浸水想定図(想定最大規模)」(平成28年6月)、宮崎県公表の「洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」(令和元年7月)及び「土砂災害警戒区域」をもとに作成しています。
- このハザードマップでは、川内川・長江川において、想定される最大規模の洪水が発生した場合の浸水想定区域と浸水深、及び土砂災害警戒区域(イエローゾーン、レッドゾーン)、避難施設等を示しています。
- このハザードマップでは、川内川・長江川以外の河川の氾濫、内水による氾濫を考慮していません。浸水想定区域以外の場所においても浸水するおそれがある場合があります。また、土砂災害についても土砂災害警戒区域以外の箇所でも発生する可能性がありますので、周囲の状況などを確認しておきましょう。
- 浸水想定区域内にある避難施設の開設については、降雨量や河川の水位、内水等の状況を総合的に判断して開設します。
- 市が避難情報を発令した場合には、速やかに開設した避難施設又は安全な場所に避難してください。
- 避難施設の開設状況などの詳しい情報は、市ホームページ等で確認してください。

「測量法に基づく国土情報(複製) R 1.0F 1294」「本製品を複製する場合は、国土情報提供の長を承認を得なければならない。」

水害・土砂災害の防災情報の伝え方

国の「避難勧告等に関するガイドライン」では、住民が「自らの命は自らが守る」意識を持ち、「自らの判断で避難行動をとる」との方針が示されています。

この方針に沿って自治体や気象庁などから発表される防災情報が、次の5段階の警戒レベルで提供されます。

危険度 ↑高い ↓低い	避難情報等			防災気象情報	
	警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	発信者	警戒レベル相当情報例
↑	警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 <u>命を守るための最善の行動を!</u>	災害発生情報	市町村	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
	警戒レベル4 全員避難	速やかな立ち退き避難や屋内退避など直ちに命を守る行動を!	避難勧告 避難指示(緊急)		警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報等
	警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を!	避難準備・高齢者等避難開始		警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報 等
	警戒レベル2	避難に備え、避難場所や経路などを確認し、自らの避難行動を確認しましょう。	注意報	気象庁	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 (国土交通省、気象庁、都道府県が発表) 警報等が市町村発令の各レベルに「相当」という意味です。
	警戒レベル1	最新の気象情報に注意し、災害に備えましょう。	数日中に警報級の大雨が降るとの予報		

「警戒レベル」3以上は、市町村が避難勧告などの避難情報発令時に用います。これに対し、「警戒レベル相当情報」は、国土交通省、気象庁、都道府県が警報などの防災気象情報をわかりやすく提供するため、「警戒レベル」との対応を整理し位置付けを行ったものです。市は、防災気象情報を含め、さまざまな情報を総合的に判断して避難情報を発令しますので、必ずしも、「警戒レベル相当情報」と同時に発令するわけではありません。

市民の皆さんは、「自らの命は自ら守る」意識を持って、防災気象情報も参考にしながら自ら適切な避難行動をとってください。

※【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう!

突然やってくる

地震について



地震発生

まず、身の安全

- ・机の下に入る。
- ・クッション、雑誌などで頭を保護する。
- ・家具から離れる。
- ・ガラス面から離れる。

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報が流れたら、まず身を守り揺れがおさまるまで待ちましょう。

普段から家の中の安全チェックをしましょう。住宅用火災報知器も設置しておきましょう。



2分
〜
5分

揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。



5分
〜
10分

家族の身の安全を確認、確保

- ・家族の安全の確認、確保
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・避難のための出口の確保
- ・ガラス片や転倒家具の注意



10分
〜
半日

隣近所の安否確認、助け合い

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・けが人の救護



半日
〜
3日

2〜3日分は自分でしのご

地震発生後数日間、水道、ガス、電気、電話等ライフラインをはじめ、食糧の供給も途絶えます。

2〜3日は自分でしのげるように、生活必需品(非常用品)を備えておきましょう。

【家族・関係者連絡先】

まずは、下の表に記入しましょう。

氏名	連絡先
()	-
()	-
()	-
()	-
()	-

正しい情報で直ぐ行動

風水害 (台風災害) について



注意報・警報・特別警報の種類と時期

種類	名称	発表の時期
特別警報	大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が想定されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
大雨警報	記録的短時間大雨警報	1時間雨量 100 mmの猛烈な雨を観測したとき。
警戒情報	土砂災害警戒情報	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。
警報	大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
	洪水警報	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
注意報	大雨注意報	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
	洪水注意報	河川の増水によって、災害が起こるおそれがあるとき。

雨の強さと降り方

1時間雨量

10~20mm 未満	20~30mm 未満	30~50mm 未満	50~80mm 未満	80mm 以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら注意が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。	がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制が行われることがあります。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなり、傘は全く役に立たなくなります。土石流が起こりやすくなり、多くの災害が発生する可能性があります。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

危険な場所を知っておく

土砂災害について



土砂災害の種類



急な崖地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象を、斜面崩壊（がけ崩れ）といい、国内で最も件数の多い土砂災害です。一瞬にして崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。このような被害を生じる恐れのある箇所を「急傾斜地崩壊危険箇所」といいます。



土石流とは、谷や斜面にたまった土・石・砂が大雨による水とともに、一気に谷を流れ下る現象です。スピードが速く破壊力も大きいため、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある溪流（渓谷や小川）を「土石流危険溪流」といいます。



粘土などの滑りやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動きだす現象です。一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。このような被害を生じる恐れのある箇所を「地すべり危険箇所」といいます。

土砂災害の前兆

こんな前ぶれに要注意



山鳴りがする。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



川の流れが濁り、流木が混ざり始める。



斜面から水が噴き出す。



沢や井戸の水が濁る。



地面にひび割れができる。



小石がパラパラ落ちてくる。

避難のポイント



強降雨が予想されている場合は、1時間に20ミリ以上の雨が降る可能性がある場合は、1時間に20ミリ以上の降雨量になったら注意が必要です。



逃げ方を覚えましょう。土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



避難場所を決めおく必要があります。日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

情報の入手方法

※このメールサービスの利用料は無料です。

宮崎県防災・防犯情報メールサービス

このサービスを利用すると、県・市町村・警察・消防からの「防災・防犯情報」や、気象協会と連動した「自然災害情報」が配信されます。

特に自然災害情報は、注意報や警報の種類など、詳細な設定ができ、状況に応じて必要な情報が得られますので登録をお勧めします。

登録方法

- ①ご自宅のパソコンや携帯電話から登録用メールアドレス「bousai.miyazaki-pref@raidan2.ktaiwark.jp」に空メールを送信する。
- ②返信されてくるメールの内容に従って手続きを進める。



宮崎県防災・防犯情報
メールサービス
QRコード

えびの市「メール配信サービス」

市では、携帯端末やパソコン等の電子メールアドレス宛に、防災行政無線でお伝えしている内容や日曜祝日当番医等の情報をお送りする「メール配信サービス」を行っています。

<https://www.city.ebino.lg.jp/display.php?cont=150512162534>

提供コンテンツ

- 防災行政無線情報配信（所管 基地・防災対策課）
防災行政無線のえびの市からのお知らせの内容をメールで配信します。
（例）台風〇〇号の接近に伴い、市内全域に避難勧告が発令されました。それに伴い、〇〇避難所を開設しました。
※消防庁の津波警報、緊急地震速報、全国瞬時警戒システム（J-ALERT）の放送には対応していません。

※警報が出たら、テレビやラジオをつけてください。



えびの市
「メール配信サービス」
QRコード

災害対策の基本は情報収集！

最新の防災情報を収集して、風水害に備えましょう。

- 【気象庁】防災情報 ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/yoho/>
- 【国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所】防災・災害情報
▶ http://www.qsr.mlit.jp/sendai/bousai_info/
- 【宮崎県】雨量・河川水位観測情報 ▶ <http://kasen.pref.miyazaki.jp/>
- 【宮崎県】土砂災害
▶ <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kurashi/bosai/bosai/dosha/index.html>

警察は
110番

えびの警察署
(0984)33-0110

火事・救急は
119番

えびの消防署
(0984)33-6119

えびの市
基地・防災対策課

電話：(0984)35-1119

防災について話し合う

我が家の防災対策



災害はいつ襲ってくるかわかりません。
被害を最小限に食い止めるためには、日頃の準備が大切です。
定期的に家族そろって災害から身を守る方法について話し合っておきましょう。

家族一人ひとりの役割分担

日常の防災の役割と災害が起きたときの役割の両方を決める。

家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。

家の中に安全な空間を確保する。

家具の安全な場所への配置換えや、家具の転倒や落下を防ぐ方法を考える。

非常持出品のチェックと入替え

必要な品が揃っているかチェック。新しいものと取り替えも忘れずに。

災害時の連絡方法や避難場所の確認

家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認する。できれば休日などを利用しみんなで下見をしておく。



防災ハザードマップの見方

①まず、自宅の位置を確認しましょう。

自宅のある場所や近隣地区の土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などを確認しましょう。



②次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。

自宅に一番近い避難所を地図で確認しましょう。



③災害を避けて、避難経路を決めましょう。

土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などの危険な場所を避けて避難経路を設定しましょう。



④実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。



指定避難所一覧

飯野地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
飯野中学校体育館	原田190番地	33-0021
飯野小学校体育館	原田110番地	33-0008
旧大河平小学校体育館	大河平2410番地	33-0970
高野畜産管理センター	坂元1666番地	-
えびの市民体育館	原田3056番地	33-5332
飯野駅前地区体育館 ※	原田2176番地	33-5035
飯野地区コミュニティセンター ※	原田112番地11	33-0030
えびの市文化センター ※	大明司2146番地2	35-2268
高齢者交流プラザ	原田112番地1	33-0984

上江地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
旧上江中学校体育館	上江1735番地	33-0315
上江小中学校体育館	上江1580番地	33-0133
上江地区体育館 ※	上江1780番地1	33-4068

加久藤地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
加久藤中学校体育館	栗下1269番地1	35-1353
加久藤小学校体育館	栗下151番地	35-1351
尾八重野コミュニティセンター	東長江浦1652番地368	-
加久藤地区体育館 ※	栗下1168番地13	35-2290
えびの市国際交流センター	榎田388番地1	35-3211
加久藤地区コミュニティセンター	栗下64番地1	35-1755

真幸地区

避難所名	住 所	電話(施設代表)番号
岡元小学校体育館	浦371番地	37-2240
真幸地区体育館 ※	向江1188番地10	37-0004
真幸地区コミュニティセンター	向江798番地	37-3221
老人福祉センター ※	向江491番地4	37-1329

※は、指定緊急避難場所として災害発生時優先して開設されます。

霧島火山防災マップ（地図面）



霧島山火山防災マップ

霧島山(きりしまやま)は、過去に何度も噴火を繰り返し、今も活発に活動する国内有数の活火山です。

このマップは、今後、霧島山で噴火の可能性の高い4箇所(「新燃岳」「御鉢」「えびの高原(硫黄山)周辺」「大幡池」)において火山活動が活発になった場合の火口ごとの立ち入り禁止区域などを示したものです。

噴火警報・噴火予報の発表に応じて、登山道などの通行が規制される場合がありますので、立ち入り禁止区域・通行規制区域内には絶対に入らないで下さい。

霧島山の火山活動についての最新情報に日頃から注意し、噴火に備えるように、このマップを活用していきましょう。

この4箇所の周辺についても、火山活動に注意が必要です。

※霧島山とは、九州南部の宮崎県と鹿児島県境付近に広がる火山群の総称を指します。



登山の際には

- 最新の火山活動や気象についての最新情報チェックをしましょう。
- また、登山中も気象庁のHPから情報収集を怠らないようにしましょう。
- 登山計画書(登山届)を提出しましょう。
- 緊急連絡メールなどを受信できるよう携帯電話の電源を入れておきましょう。
- 携帯電話の不感地帯が多いため、ラジオを携帯して情報収集に努めましょう。
- ヘルメットなどの安全装備を着用・持参して登山しましょう。
- 噴気孔や噴気地帯の窪地など危険な場所には、絶対に立ち入りしないでください。
- 異常を発見した場合には下山するとともに、関係市町、警察、消防に速やかに連絡しましょう。
- 噴火時は、山小屋や岩壁などに2階避難し、噴火が収まったら直ちに下山しましょう。



火山情報はここから(火山登山者向けの情報提供ページ)

全国オンライン登山届けコンパスはここから(必ず登山届けをしましょう)

このような異変に気づいたら速報ください

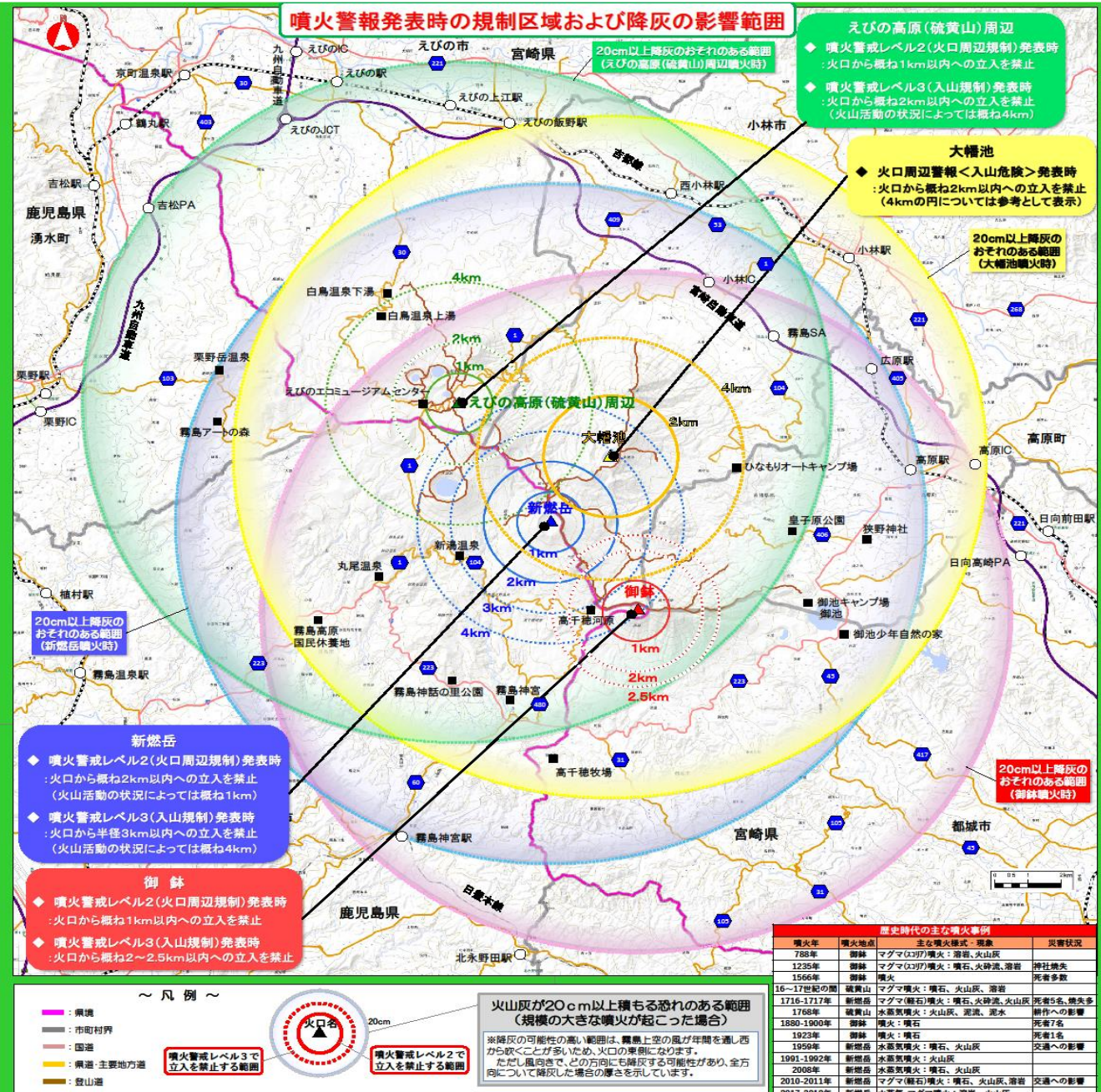
情報の提供 問合せなど

警視庁	110
消防	119
宮崎市	危機管理課 0998-23-2129
高岡町	危機管理課 0984-42-2112
宮崎県	危機管理課 0984-23-1175
小林市	障工観光課 0984-23-1174
えびの市	基盤・防災対策課 0984-35-1119
湯水町	観光課 0995-74-3111
鹿児島県	観光課 0995-45-5111
鹿児島市	安心安全課 0995-25-4032
霧島地方気象台	099-250-9916

監修：霧島山火山防災協議会
発行：櫻井島会(えびの市、霧島市、小林市、宮崎市、高岡町、都城市、湯水町(五十音順))
製作：霧島山火山防災協議会、宮崎河川国道事務所、(一財)砂防・地すべり技術センター
火山防災マップについてのお問い合わせ先 上記の情報の提供・問合せ先、お問い合わせ下さい。

【資料・写真提供(敬称略・五十音順)】
気象庁、九州地方整備局、霧島火山防災対策委員会、国土地理院、(一財)砂防・地すべり技術センター、日本火山学会
平成30年●月作成

地図の作成にあたっては、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の電子地形図120万及び電子地形図1:2.5万を複製したものである。(※敬称略)



火山活動に関する情報

噴火警報と噴火警戒レベル

- 気象庁は、全国の活火山を対象に、危険範囲が火口内にとどまる場合には噴火予報、火口周辺に限られる場合には火口周辺警戒、居住地域まで警戒を要する場合は噴火警報を発表しています。
- 40数火山では、噴火警報・予報に付加して、「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民への「とるべき防災対応」を5段階に区分した噴火警戒レベルが発表されます。
- 霧島山では、「えびの高原(硫黄山)周辺」、「御鉢」に噴火警戒レベルが設定されています。
- 霧島山周辺の市町は、噴火警報と噴火警戒レベルをもとに立入規制範囲を定め、噴火警報(噴火警戒レベル4・5)が発表された場合には警戒範囲内の居住地域に避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告あるいは避難指示(緊急)を発令します。
- 登山前には、霧島山が噴火警戒レベルのどの段階にあるか、確認しておきましょう。

下記の()内の赤字は、大幡池を対象とした噴火予報、火口周辺警戒、噴火警報のキーワードです。

レベル1 活火山であることに留意(活火山であることを留意)

レベル2 火口周辺規制(火口周辺危険)
火口周辺に生命の危険が及ぶ噴火が発生しているか、発生すると予想されます。

レベル3 入山規制(入山危険)
居住地域の近くに生命の危険が及ぶ噴火が発生しているか、発生すると予想されます。

レベル4 避難準備(居住地域厳重警戒)
居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

レベル5 避難(居住地域厳重警戒)
居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が切迫しているか、発生しています。

※レベル4以上でも、地元自治体から火口周辺に立入規制区域が設定される場合があります。また、登山者・観光客等の立入が規制されます。

注: レベル1であっても、火口周辺に立入規制区域が設定される場合があります。また、登山者・観光客等の立入が規制されます。

最新の火山情報

最新の火山情報を確認しましょう。

噴火警戒レベルを引き上げの可能性がある場合などには、火山の状況に関する解説情報(臨時)が発表されます。登山前、霧島山に入る前には、最新の火山情報について、上のQRコードか、下記のURLから気象庁ホームページで確認して下さい。

URL: <https://www2.fnet.km.jp/misaki/index/history/0424/0424.html>

登山者や住民に火山が噴火したことを的確にいち早く伝えるため、噴火連絡が発表されます。噴火連絡が発表された時は、対象エリア内の人は、直ちに身の安全を守る必要があります。噴火連絡は、登山中であらう携帯端末などから知ることができます。

※携帯端末で噴火連絡を受信するには事業者が提供するサービスをご利用下さい。

事業者が提供するサービスについては、右のQRコードか、下記のURLから気象庁ホームページをご覧ください。

URL: http://www.data.ims.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/aisetsu/funkasokuho/funkasokuho_tohs.html

いざというときの心得(周辺住民の皆様)

噴火警戒レベル1(噴火予報)のときには

- 霧島山の噴火の歴史や噴火の特徴について知っておきましょう。
- 家族で避難場所や避難経路について、話し合っておきましょう。
- 事前に、避難時に危険な箇所を把握しておきましょう。
- 非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

噴火警戒レベル2~3(火口周辺警戒)のときには

- テレビやラジオ、防災無線などを聞いて、正しい情報を得ましょう。
- デマには惑わされないようにしましょう。
- 空振や小さな噴石に注意しましょう。

噴火警戒レベル4~5(噴火警報)のときには

- 自治体からの避難勧告・避難指示に従いましょう。
- 電気・ガスの元栓を確認しましょう。
- お年寄や病者など、手助けが必要な方々の避難を助けましょう。
- 慌てずに落ち着いて行動しましょう。
- 戸締まり、貴重品を忘れずにしましょう。
- 落ち着いたら親戚や知人へ避難した場所などを伝えましょう。

噴火で想定される現象

降灰

噴火によって火砕物が火口から巻き上げられ、地上に降下する現象を降灰といいます。上空の風に吹かれて広範囲に拡散します。また、大量に降灰が生じ火砕物が堆積した場合には、農作物の被害や車が走れなくなるなど、生活に大きな影響を与えます。

(写真: 2011年新燃岳噴火時の宮崎県都城市内の降灰状況)

火砕流・熱風

高温の溶岩片、火山灰、火山ガスなどが混ざりあって、周囲に熱風を伴いながら斜面を高速に落下する現象を火砕流といいます。火砕流は、高速で時速100km以上になることもあります。また内部には高温な場合が多く、建物や動物に破損的な被害を与え、巻き込まれると大変危険です。

溶岩流

火口から斜面に沿って落下するマグマ体を溶岩(溶岩流)といいます。低い場所を流れて溶岩が流れ、通り道にある建物や樹木は焼かれ、火事になることがあります。溶岩の流速は遅いため、落ち着いて避難することができます。

火口湖決壊型火山泥流

不動池、六観音池、大幡池のような火口湖で噴火が起きると火口湖が決壊し、大量の水が火山灰、石や砂を巻き込みながら、高速で流れ下ることがあり、これを火口湖決壊型火山泥流といいます。流れは勢いが強く、破壊力も大きいので広範囲に被害が及ぶことがあります。

噴石

噴火によって岩石が、火口から勢いよく上空に飛び出し、高速で地上に降下するものを噴石といいます。噴石はどの方向にも飛んでいき、火口に近いほど量が多く、サイズも大きくなります。大きなものだと屋根に穴があき、そのため火事になることもあります。「こぶし」より小さい噴石は、風に流されて4kmより遠くへ飛んでいきますので、風下側でも注意が必要です。

降灰後の土石流

火山の噴火後、火山灰の降り積もった地域に雨が降ると土石流が発生しやすくなります。通常の土石流よりも少ない雨で起こり、落下するスピードが速いのが特徴です。噴火で積もった火山灰が原因ですので、噴火が終わってからも数年間は土石流の起きやすい状態が続きます。

わが家の防災メモ

いざという時に家族の避難所や連絡先がすぐわかるよう、家族で話し合い、メモしておきましょう。

住所: _____
地区名: _____
氏名: _____
電話番号: _____

災害用伝言ダイヤルの使い方

伝言を録音するとき: 171
伝言を再生するとき: 172

被災地の方の電話番号: _____

避難が必要となる火口および指定される火山現象

※裏面の4火口の避難対象地区と避難場所一覧を確認し、避難が必要となる火口および指定される火山現象を記入して下さい。

家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	日中の居場所(勤務先や学校)	左記の電話番号

5 既往災害の状況

■えびの市における既往災害

年月日	種別	地区名	災害の規模	被害額 (千円)	備 考
昭和 35 年 1 月 10 日	火災	旧飯野町 公民館	延焼2,762㎡	33,514	火災による被害：3棟
昭和 40 年 7 月 5 日	地すべり	旧真幸町 西内堅	土砂流出:30.0ha 決壊：1.8ha 堰堤4か所決壊	不明	避難家屋：29世帯 107人 家屋取壊：11戸
昭和 43 年 2 月 21 日	地震	市内全域	マグニチュード 6.1	6,455,352	死 者： 3人（鹿児島県内） 負 傷 者： 35人 家屋損壊：6,642戸 り災世帯：3,477世帯 市内328か所の山腹崩壊
昭和 47 年 7 月 6 日	山津波	西内堅	土砂流出:30万m ³	1,338,777	死 者： 3人 行方不明： 1人 り災世帯：27世帯
平成 9 年 9 月 16 日	台風19号	市内全域 及び京町 地区周辺	総雨量 白 鳥:588mm 満 谷:548mm 京 町:335mm	2,182,365	全 壊： 2棟 2世帯 3人 一部破損： 4棟 4世帯 7人 床上浸水：122棟 115世帯 330人 床下浸水：214棟 212世帯 466人
平成 18 年 7 月 18 日 ～23 日	平成18年 7月豪雨	市内全域 及び京町 地区周辺	加久藤(アメダス) 総雨量 1,023mm 24時間雨量 502mm	1,690,689	半 壊： 94棟 77世帯 170人 一部破損： 11棟 10世帯 25人 床上浸水： 92棟 73世帯 161人 床下浸水：181棟 208世帯 374人
平成 23 年 6 月 15 日 ～22 日	平成23年 6月豪雨	市内全域 及び京町 地区周辺	梅雨前線による 大雨	300,265	床上浸水： 1棟 床下浸水：14棟

(出典：宮崎地方気象台ホームページ、宮崎県における災害文化の伝承（平成18年3月）)

6 宮崎県の被害地震

■宮崎県下に被害をもたらした地震(1/3)

No	発生年月日	震央地名 [地震名]	規模 M (マグニチュード)	最大 震度	宮崎県内の被害概要
1	1662. 10. 31	日向灘 (外所地震)	7. 6	不明	死者多数、潰家 3, 800 戸
2	1769. 8. 29	日向灘	7. 7	不明	高鍋城、佐土原城損壊、寺社町家破損多
3	1899. 3. 24	宮崎県南部	6. 4	4	宮崎市、都城市、飫肥市等で壁や地面の亀裂
4	1899. 11. 25	日向灘	7. 1	4~5	家屋、石垣等の破損、土地の亀裂等
5	1903. 10. 11	日向灘	6. 2	4~5	灯台破損
6	1909. 11. 10	宮崎県北部	7. 6	5	宮崎市で被害大。煙突、障壁の倒壊等
7	1911. 2. 18	日向灘	5. 6	4	宮崎付近で強く、家屋の小破損等
8	1911. 6. 15	喜界島近海	8. 0	5	小煙突の破損、壁の亀裂等
9	1913. 4. 13	日向灘	6. 8	5	宮崎市で壁の亀裂等
10	1929. 5. 22	日向灘	6. 9	5	煙突崩壊、家屋の損壊等
11	1931. 11. 2	日向灘	7. 1	5	前震(M6. 0)あり。宮崎、都城、佐土原、生目等で被害大。死者 1 名、負傷者 29 名、家屋全壊 5 戸、半壊 21 戸等
12	1935. 7. 3	宮崎県北部	4. 7	4	高岡、本庄で道路決壊
13	1939. 3. 20	日向灘	6. 5	4	県下で死者 1 名、負傷者 1 名、全壊 1、半壊 1 戸、煙突倒壊 3 件、道路損壊 7 箇所、宮崎市では殆どの家屋に被害発生
14	1941. 11. 19	日向灘	7. 2	5	大分・宮崎・熊本県で死者 2 名、負傷者 18 人(県内 5 人)、家屋全壊 27(県内 1 戸)、家屋半壊は 3 県で 32 戸、特に延岡市で被害大。余震が多く発生。家屋一部損壊が多数発生
15	1946. 12. 21	紀伊半島沖 (昭和南海地震)	8. 0	4	中部から九州地方の全体で死者 1330 人。県下では負傷者 1 人、家屋半壊 3 戸、津波による家屋浸水 265 戸
16	1948. 5. 9	日向灘	6. 5	4	壁土落下等
17	1952. 11. 5	カムチャッカ 半島南東沖	9	—	津波と満潮が重なり、南郷町で床上浸水、護岸決壊

※被害については、宮崎県地域防災計画と宮崎地方気象台による記録に差異があるため概要として記載している。

(出典：宮崎県地域防災計画・資料編ならびに宮崎地方気象台ホームページ宮崎県の被害地震)

■宮崎県下に被害をもたらした地震(2/3)

No	発生年月日	震央地名 [地震名]	規模 M (マグニチュード)	最大 震度	宮崎県内の被害概要
18	1960. 5. 24	チリ地震津波	8.5	—	日本全域で津波死者 122 人。県下では床上浸水 168 戸、床下浸水 145 戸、船舶被害 32 隻等
19	1961. 2. 27	日向灘	7.0	5	県下で死者 1 人、負傷者 4 人、家屋全壊 1 戸、半壊 4 戸、一部破損 104 戸、非住家被害 37 戸、その他道路、橋りょう、鉄道に若干の被害
20	1961. 3. 16	えびの付近	5.3	4	真幸、吉松で震度 4。吉松町で道路のがけ崩れ、地割れ、落石発生等
21	1963. 10. 4	日向灘	6.3	4	人家のガラス破損、柱時計止まる。
22	1968. 2. 21	霧島山北麓 (えびの地震)	6.1	6	前年 11 月から地震群発する。4 月まで有感地震続く。鹿児島県で死者 3 人、宮崎県でも負傷者 32 人、家屋全壊 333 戸
23	1968. 4. 1	日向灘	7.5	5	地震による県下の負傷者 15 人、建物一部破損 9 件、家屋半壊 1 戸等
24	1968. 8. 6	豊後水道	6.6	4	県下で道路破損 1 件
25	1969. 4. 21	日向灘	6.5	4	県下で負傷者（重傷者）2 人
26	1970. 7. 26	日向灘	6.7	5	宮崎市、日南市で負傷者 13、道路破損 4 箇所、山崩れ 4 件
27	1978. 5. 23	鹿児島県西方沖	6.4	4	国鉄（現 JR）線路に落石
28	1978. 7. 4	宮崎県北部	6.0	4	西都、日之影。宮崎で軽被害発生
29	1984. 8. 7	日向灘	7.1	4	県下で負傷者 9 人、建物一部破損 319 件、道路損壊 7 件等、県北で被害大
30	1987. 3. 18	日向灘	6.6	5	県下で死者 1 人、負傷者 6 人、家屋一部損壊 432 戸等、道路損壊、山崩れ、崖崩れ等
31	1996. 10. 19	日向灘	6.9	5 弱	日南市や宮崎市青島等で住家被害等
32	1996. 12. 3	日向灘	6.7	5 弱	宮崎市、都城市、三股町で水道管の破損発生。佐土原町、新富町、高鍋町、宮崎市南部で学校の窓ガラス破損

※被害については、宮崎県地域防災計画と宮崎地方気象台による記録に差異があるため、概要として記載している。

(出典：宮崎県地域防災計画・資料編ならびに宮崎地方気象台ホームページ宮崎県の被害地震)

■宮崎県下に被害をもたらした地震(3/3)

No	発生年月日	震央地名 [地震名]	規模 M (マグニチュード)	最大 震度	宮崎県内の被害概要
33	2011. 3. 11	三陸沖（東日本 大震災）	9.0	—	東北地方を中心に甚大な被害が発生。 県下では人的・物的被害は無かったが、 高さ 1m 前後の津波を観測
34	2012. 6. 4	宮崎県 南部山沿い	4.4	4	小林市とえびの市で震度 4。小林市で住 家一部損壊 1 戸

※被害については、宮崎県地域防災計画と宮崎地方気象台による記録に差異があるため、概要として記載している。

(出典：宮崎県地域防災計画・資料編ならびに宮崎地方気象台ホームページ宮崎県の被害地震)

7 危険物施設一覧

危険物製造所などの状況

(単位：箇所)

貯 蔵 所						取 扱 所		計
屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	
2	17	1	12	13	0	24	10	79

(出典：えびの消防署内資料（令和2年4月1日現在）)

高圧ガス施設の状況

(単位：箇所)

高圧ガス製造施設			高圧ガス販売事業所		容 器 検 査 所	計
一般高圧 ガス	液化石油 ガス	冷 凍	一般高圧 ガス	液化石油 ガス		
2	2	3	2	15	1	22

(出典：令和元年宮崎県地域防災計画（平成28年3月31日現在）)

8 県内の主要な雨量観測所配置図



(出典：平成 24 年度宮崎県地域防災計画・同資料編)